

改訂日 2022年9月8日 (第3版)

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	ボクサー®
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
電子メールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	除草剤

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分3
健康に対する有害性:	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	皮膚感作性	区分1
	誤えん有害性	区分1
環境に対する有害性:	水生環境有害性、短期(急性)	区分1
	水生環境有害性、長期(慢性)	区分1

\* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」

## ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

引火性液体および蒸気  
皮膚刺激  
強い眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
水生生物に非常に強い毒性  
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

## 注意書き:

## 【安全対策】

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面／聴覚保護具を着用すること。  
 取扱い後は手をよく洗うこと。  
 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 必要な時以外は、環境への放出を避けること。

## 【応急措置】

火災の場合:消火するために乾燥砂、粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤を使用すること。  
 皮膚についた場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。  
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診断、手当てを受けること。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。  
 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合:医師の診断、手当てを受けること。  
 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。  
 無理に吐かせないこと。  
 漏出物を回収すること。

## 【保管】

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
 施錠して保管すること。

## 【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名【一般名】

S-ベンジル=ジプロピルチオカルバマート 【一般名:プロスルホカルブ】

成分	含有量(%)	化学式	官報公示 整理番号	CAS No.
プロスルホカルブ	78.4	C <sub>14</sub> H <sub>21</sub> NOS	4-(6)-385	52888-80-9
有機溶剤、界面活性剤等 (直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩)	21.6 (3.8)	—	—	— 26264-06-2
(イソブタノール)	(1.6)	C <sub>4</sub> H <sub>10</sub> O	2-3049(化審法)	78-83-1
(1,2,4-トリメチルベンゼン)	(3.0)	C <sub>9</sub> H <sub>12</sub>	3-7, 3-3427 (化審法)	95-63-6

## 4. 応急措置

一般的アドバイス	緊急連絡先、中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、製品容器、ラベル、安全データシートを手元に用意する。
吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移す。呼吸をしていない場合や呼吸が不規則な状態である場合、人工呼吸を施す。安静・保温に努める。直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類を脱ぐ。直ちに多量の水を用いて洗い流す。皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡する。汚染された衣類は再使用する前に洗濯する。
眼に入った場合	直ちに多量の水で15分以上まぶたの内側も含め洗う。コンタクトレンズを外す。医師の診察、手当を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当を受ける。医師に製品容器又はラベルを見せる。無理に吐かせない。
最も重要な急性および遅発性の症状	吸引すると肺浮腫と肺炎を起こす可能性がある。
医療関係者への情報	特定の解毒剤はない。 対症療法を行う。

## 5. 火災時の措置

消火剤	小規模火災時： 噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 大規模火災時： 耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状放水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
特有の危険有害性	可燃性有機成分を含有するため、火災時に有害性物質を含む黒煙が発生するおそれがある(「10. 安定性及び反応性」参照)。 分解生成物へのばく露は健康を害する可能性がある。 かなりの距離にわたる逆火の可能性はある。
消防士へのアドバイス	
消火を行う者の保護	完全な保護服と自給式呼吸器を着用する。
詳細情報	消火水を排水路や水路に流出させない。 火にさらされた密閉容器は散水して冷やす。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	「7. 取扱い及び保管上の注意」および「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
-----------------------	--

	<p>こぼれや漏れが発生している場所から風上に避難させる。</p> <p>蒸気がたまと爆発性濃縮物が生成されるので要注意する。蒸気は低い所にたまる可能性がある。</p> <p>付近の発火源となるものを取り除く。</p> <p>逆火に注意する。</p>
環境に対する注意事項	<p>安全を確認してから、漏出または流出防止の措置をとる。</p> <p>河川または下水システムに排水しない。</p> <p>製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。</p>
封じ込め、浄化の方法及び機材除去	<p>漏出物を封じ込めて不燃性の吸収剤(砂、土、珪藻土、バーミキュライトなど)で吸収して容器に入れ、地域の規制に従って廃棄する(「13.廃棄上の注意」を参照)</p> <p>汚染面を十分に浄化する。</p> <p>洗剤で拭くこと、溶剤は避ける。</p> <p>汚染された洗浄水を保管し、処分する。</p>

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全取扱注意事項	<p>皮膚や眼への接触を避ける。</p> <p>使用中は飲食及び喫煙を禁止する。</p> <p>耐炎性装置のある場所でのみ使う。</p> <p>静電気放電に対して予防処置手段をとる。</p> <p>個人用保護具に関しては「8. ばく露防止及び保護措置」を参照する。</p>
保管	<p>乾燥した、涼しい、換気の良い場所で、容器を密閉して保管する。</p> <p>小児の手の届く所には置かない。</p> <p>可燃物から遠ざける。</p> <p>スプリンクラーのある場所に置く。</p> <p>食品、飲料、飼料と区別して保管する。</p> <p>消防法の定めに従う。火気厳禁。</p>

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。</li> <li>・取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。</li> </ul>						
管理濃度	<table border="0"> <tr> <td>プロスルホカルブ</td> <td>TWA 4 mg/m<sup>3</sup></td> <td>(シンジエンタ社)</td> </tr> <tr> <td>イソブタノール</td> <td>ACL 50 ppm</td> <td>(安衛法)</td> </tr> </table>	プロスルホカルブ	TWA 4 mg/m <sup>3</sup>	(シンジエンタ社)	イソブタノール	ACL 50 ppm	(安衛法)
プロスルホカルブ	TWA 4 mg/m <sup>3</sup>	(シンジエンタ社)					
イソブタノール	ACL 50 ppm	(安衛法)					
許容濃度	<table border="0"> <tr> <td>イソブタノール</td> <td>50 ppm、150 mg/m<sup>3</sup></td> <td>(日本産業衛生学会)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>TWA 50ppm</td> <td>(ACGIH)</td> </tr> </table>	イソブタノール	50 ppm、150 mg/m <sup>3</sup>	(日本産業衛生学会)		TWA 50ppm	(ACGIH)
イソブタノール	50 ppm、150 mg/m <sup>3</sup>	(日本産業衛生学会)					
	TWA 50ppm	(ACGIH)					

保護具	呼吸器用の保護具	防護マスク
	手の保護具	不浸透性手袋
	眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡、保護面
	皮膚及び身体の保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	淡黄色
引火点	56.5 °C (セタ密閉式) 59.2 °C (タグ密閉式)
pH	6.2 (1%w/v)
比重	1.02 (20°C)
オクタノール／水分配係数	プロスルホカルブ log Pow = 4.48 (30°C)

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
反応性	ほとんどないと考えられる。
危険有害反応可能性	通常の条件下では既知の危険な反応はない。
避けるべき条件	取扱条件に従っているとき、特になし。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知られていない。

## 11. 有害性情報

製品の情報		
急性毒性		
経口 LD50	ラット	>2000 mg/kg
経皮 LD50	ラット	>4000 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	ウサギ	軽度の刺激性
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ウサギ	中等度の刺激性
呼吸器感受性又は皮膚感受性	モルモット	皮膚への接触により感受性を示すおそれがある
慢性毒性		
誤えん有害性	石油系の有機溶剤を含有しているので、飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ	

### プロスルホカルブ原体の情報

生殖細胞変異原性	動物実験では遺伝子の突然変異への影響はなかった。
発がん性	動物実験において発がん性のエビデンスはない。
生殖毒性	生殖毒性はない。
反復投与毒性	慢性毒性試験では副作用は観察されていない。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性:

コイ LC <sub>50</sub> (96hr)	3.9 mg/L
オオミジンコ EC <sub>50</sub> (48hr)	2.2 mg/L
緑藻 ErC <sub>50</sub> (96hr)	0.18 mg/L

## 13. 廃棄上の注意

### 注意事項

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### 陸上輸送

・国連番号	UN1993
・国連輸送名	その他の引火性液体(ソルベントナフサ、イソブタノール)
・国連分類	3
・容器等級	III
・ラベル	3
・環境有害性	該当

#### 航空輸送

・国連番号	UN1993
・国連輸送名	その他の引火性液体(ソルベントナフサ、イソブタノール)
・国連分類	3
・容器等級	III
・ラベル	引火性液体
・環境有害性	該当

## 海上輸送

・国連番号	UN1993
・国連輸送名	その他の引火性液体(ソルベントナフサ、イソブタノール)
・国連分類	3
・容器等級	III
・ラベル	3
・EmS コード	F-E, S-E
海洋汚染物質	該当
輸送時の安全対策	運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。消防法の定めに従う。

## 15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 22775 号
消防法	第 4 類 第 2 石油類 水溶性液体
労働安全基準法	第 57 条 通知・表示義務対象物質 イソブタノール 1.6%
化管法 (PRTR 法)	プロスルホカルブ (2023 年 4 月 1 日以降、第一種指定化学物質) 78.4% 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る。) 第一種指定化学物質 3.8% トリメチルベンゼン 第一種指定化学物質 3%

## 16. その他の情報

記載内容の取扱い	製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。 この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。 当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。
----------	--

問合せ先	担当部門	電話番号
	HSEグループ	03-6221-1027

中毒の緊急問合せ先 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
----------	-----------------------	-------------------------------

大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999

「ボクサー」はシンジエンタ社の登録商標です。